

自然科学研究科 数物科学専攻
【授与する学位】博士（学術）

<p style="text-align: center;">大学（大学院）の目的</p> <p>金沢大学大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。博士課程は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。</p>	<p style="text-align: center;">学類（研究科）の教育研究上の目的</p> <p>博士後期課程は、科学技術分野における学術研究が専門化及び先端化する中で、「学際性」、「総合性」及び「独創性」に富んだ高度な研究者・技術者を養成することを目的とする。 数物科学専攻は、博士前期課程で培った専門知識と経験をふまえ、最先端の課題への取り組みを通じて、問題の根本を見据えて新課題を自ら開拓する洞察力を養い、高等教育機関の教員や一般企業の研究職に相応しい高度の見識と専門性を持つ人材を養成することを目的とする。</p>
---	--

ディプロマ・ポリシー（DP）	カリキュラム・ポリシー（CP）	アドミッション・ポリシー（AP）
<p style="text-align: center;">【修了認定・学位授与に関する基本的考え方（前文）】</p> <p>自然科学研究科数物科学専攻は、数学や物理学又は計算科学の高度な専門知識と研究手法を修得し、自然科学の諸問題を根本的なレベルで解明できる能力を有する高度職業人や研究者を育成することが社会から期待されている。そうした人材を育成するために、本専攻では、所定の課程を修め、必要な単位を修得し、かつ研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び試験に合格し、次のような目標を達成した者に、博士（学術）の学位を授与する。</p>	<p style="text-align: center;">【教育課程編成に関する基本的考え方】</p> <p>自然科学研究科数物科学専攻では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、大学院GS発展科目群、総合科目群、専門科目群、専攻共通科目群を体系的に編成し、講義、演習、実験、実習を適切に組み合わせた授業科目を開講する。教育課程については、その体系性や構造を明示する。</p>	<p style="text-align: center;">【入学者受入れに関する基本的考え方（前文）】</p> <p>自然科学の基礎分野に興味を持ち、数学や物理学又は計算科学に関する基礎知識を備えており、自らの専門分野に強い探究心があるとともに、一般企業や研究機関の研究者や教育機関の教員として、将来活躍することを目指す、意欲ある学生を求める。</p>
<p style="text-align: center;">【学生が身に付けるべき資質・能力】</p> <p>(1) 数学や物理学又は計算科学の高度な専門知識と研究手法を修得し、自然科学の諸問題を根本的なレベルで解明できる能力。 (2) 修得した専門知識と研究手法を、国際社会や自然界の多様な問題の解決に応用できる能力。 (3) 数学、物理学、あるいは計算科学に基礎を置いた学際的分野の研究を展開できる能力。</p>	<p style="text-align: center;">【教育内容・教育方法（教育課程実施）に関する基本的考え方】</p> <p>1. 教育内容 博士前期課程で培った専門知識と経験をふまえ、最先端の課題への取り組みを通じて、問題の根本を見据えて新課題を自ら開拓する洞察力を養い、高度教育機関の教員や一般企業の研究職に相応しい高度の見識と専門性、学際性を持った人材を養成する。この目的のため、全学博士後期課程共通の大学院GS発展科目（4科目必修）と本専攻独自の「総合科目」群、「専門科目」群、「専攻共通科目」群を配置する。 (1) 研究の専門性を深めるために、数物科学の様々な分野の「専門科目」を相当数配置する。 (2) 研究の視野を広げるために、数理科学、計算科学、物理学の概論科目を、選択必修科目である「総合科目」として配置するとともに、「専門科目」も、数学、物理学、計算科学の各分野に偏らないように配置する。 (3) 研究者や高度職業人としての基礎能力を養うための「専攻共通科目」群を配置する。 2. 教育方法 学生毎主任指導教員のもと、複数の指導教員による研究指導体制をとり、専門分野が異なる教員の研究指導・助言を受けられる体制とする。学修成果の評価は、総合・専門・専攻共通科目ではレポート、演習、あるいはゼミナールでの発表等に基づき行う。</p>	<p style="text-align: center;">【求める人材】</p> <p>(1) 自然科学の基礎分野に興味を持ち、数学や物理学又は計算科学に関する基礎知識を備え、自らの専門分野に強い探究心を有する人材。 (2) 一般企業や研究機関の研究者や教育機関の教員として、将来活躍することを目指す、意欲ある人材。</p>
	<p style="text-align: center;">【学修成果の評価】</p> <p>(1) 授業科目に対して成績評価の基準及び方法を明示し、それに基づいて、学修成果を評価する。 (2) 論文に対して審査基準と審査方法を明示し、それに基づき研究成果の審査及び試験を行う。</p>	<p style="text-align: center;">【選抜の基本方針】</p> <p>口頭発表、学業成績証明書等より、志願者の能力や資質を総合的に評価する。</p>
		<p style="text-align: center;">【入学までに身に付けて欲しい教科・科目等】</p> <p>英語及び専門分野に関する専門的基礎科目の学力を身につけておくことが必要である。</p>